職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	月日	校長名			所在地		
東放学園専門	学校	昭和54年4月	18 #	型内 和人		168-0063 東京都杉並区和泉2-	-4-1		
						03-3323-8531			
設置者名		設立認可年		代表者名		168-0063	<u>所在地</u>		
学校法人東放	学園	昭和54年4月	18	斉藤 晃		東京都杉並区和泉2- 03-3323-8531	-4-1		
分野		8定課程名	認定学		専門	1士認定年度	高度専門士認定	1,	専門課程認定年度
文化・教養	放	送専門課程	放送音	響科	平成	30(2018)年度		令和	1(2019)年度
学科の目的	ケーション能		-等を身につける人間					等のスキルを習得する: メディアとエンターテイン	
学科の特徴(主な 教育内容、取得可 能な資格 等)	映像音響処中退率:4%	ユ理技術者資格認定、 6□	情報処理技能検定	、日本漢字能力	検定、日本語	ワープロ検定			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要単	更な総授業時数又は 位数	総講	義	演習	実習	実験	実技
2		※単位時間、単位いずれ	1,700 単位時間	570) 単位時間	420 単位時間	975 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
年	<u> </u>	かに記入	- 単位	-	- 単位	- 単位	- 単位	- 単位	- 単位
生徒総定員	生徒実	!員(A) 留学生	数 (生徒実員の内数) (B)	留学生割	合(B/A)	中退率			
178 人	78	λ	8 人	() %	4 %			
	■卒業者				Ý				
	■就職希望	望者数(D) : 数(E) :	58 55		숫				
	■地元就	職者数(F)	50	1	人				
	■就職率 ■就職者	(E/D) こ占める地元就職者(<u>%</u>				
		占める就職者の割合	91		%				
			83		%				
就職等の状況	■進学者 ■その他	X	0						
		5 u 45 Ju =			D 14-7 67				
	受队所・人	クール1名、フリーラ	プス契約1名、アル	ハイト2名、その	り他/名				
	(令和	6 年度卒業者	皆に関する令和 6 年 5	月1日時点の情	報)				
	→ ナン六十B	哉先、業界等							
							40 - 4 ·	. A 7 (H) th `Y tt 4E 51	(#) 土 立 (#) F 8.H
	(令和6年度		ック、㈱東京サウン	ドプロダクション	ノ、(株)ヌーベ)	ルバーグ、㈱スタジオ	・エコー 、(株)テクノマッ	/ノヘ、(杯)双达技1川仕・	
	(令和6年度 (株)サウンス production	ぐネクスト、(株)テレテ 、(株)パシフィックアー	-トセンター、(株)Ani		ノ、(株)ヌーベ		・エコー、(株)テクノマッ	プラス、(林) 放送技術社	(NA) X III (NA) EXI I
第二老に トス	(令和6年度 ㈱サウンス production ■民間の	ベネクスト、(株)テレテ	-トセンター、(株)Ani E者評価:		ノ、(株)ヌ―べり	ルバーグ、(株)スタジオ 無	・エコー、㈱テクノマッ	グス、(権)及还技制化	(IN) X II (IN) EQI I
第三者による 学校評価	(令和6年度 傑サウンス production ■民間の記 ※有の場合	、株分スト、株分テレテ 、株パシフィックア− 評価機関等から第5 、例えば以下についてん	-トセンター、(株)Ani E者評価:	Tone 他		無	・エコー、(株)テクノマッ 西結果を掲載した	グノス、(柄放送技術社)	
学校評価	(令和6年度 傑サウンス production ■民間の記 ※有の場合	、 、 、 、 は は は は は は は は は は は は は り る り る り る り	-トセンター、(株)Ani E者評価:			無 評(プクス、(M) 及 医 技 制 社	, THE STATE OF THE
学校評価 当該学科の	(令和6年度 ㈱サウンフ production ■民間の記 ※有の場合	《ネクスト、㈱テレテ 、㈱パシフィックアー 評価機関等から第3 ・ 例えば以下についてん 平価団体:	-トセンター、(株)Ani 三者評価: 注意記載	Tone 他		無 評(面結果を掲載した	プラス、(M) 放送技術社	, my/CE, my/Cui
学校評価	(令和6年度 ㈱サウンフ production ■民間の記 ※有の場合	、株分スト、株分テレテ 、株パシフィックア− 評価機関等から第5 、例えば以下についてん	-トセンター、(株)Ani 三者評価: 注意記載	Tone 他		無 評(面結果を掲載した	アノへ、(杯)及(左)女神(社)	, my C. T. my Loui
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 (株)サウンフ production ■民間の ※有の場合	《ネクスト、㈱テレテ 、㈱パシフィックアー 評価機関等から第3 ・ 例えば以下についてん 平価団体:	-トセンター、(株)Ani 三者評価: 注意記載	Tone 他		無 評(面結果を掲載した	アノへ、(権利及)と打交利(社)	(N)/CET
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 (繰サウンフ production ■民間の ※有の場合 https://ww	ベネクスト、㈱テレテ 、㈱バシフィックアー 評価機関等から第三 ・例えば以下についてイ 評価団体: ww.tohogakuen.ac.jp	-トセンター、(株)Ani 三者評価: 注意記載	Tone 他		無 評(面結果を掲載した	1,965 単位時間	(M)// 12 (M)// (M)
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 (繰サウンフ production ■民間の ※有の場合 https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バシフィックアー 評価機関等から第三 ・ 例えば以下について 評価団体: Ww.tohogakuen.ac.jp (時間による算定) 総授業時数 	-トセンター、(株)Ani 三者評価: 注意記載	Tone 他 受審年月:		無 評(面結果を掲載した		(M)/(1/2)
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 (繰サウンフ production ■民間の ※有の場合 https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱イベンフィックアー 評価機関等から第三 ・ 例えば以下について (評価団体: ww.tohogakuen.ac.jp に時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 	トセンター、(株Ani 三者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の	Tone 他 受審年月: 実習・実技の		無 評(面結果を掲載した	1,965 単位時間	(NA) COLL
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 (繰サウンフ production ■民間の ※有の場合 https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、(株)イシフィックアー 評価機関等から第三 ・例えば以下についてイ 評価団体: ww.tohogakuen.ac.jp 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 	トセンター、(株Ani 三者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数	Tone 他 受審年月: 実習・実技の打 D授業時数	受業時数	無評	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間	(NA) COLL
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 (繰サウンフ production ■民間の ※有の場合 https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、(株)イシフィックアー 評価機関等から第三 ・例えば以下についてイ 評価団体: ww.tohogakuen.ac.jp 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 	トセンター、(株Ani 三者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数	Tone 他 受審年月: 実習・実技の打 対援業時数	受業時数	無 評(ホ・	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 105 単位時間	(M) / 12 / (M) COI
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 (繰サウンフ production ■民間の ※有の場合 https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バペシフィックアー 評価機関等から第三 例えば以下について付 評価団体: ww.tohogakuen.ac.jp は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 	トセンター、(株Ani 三者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	Tone 他 受審年月: 実習・実技の打 対機業時数 した必修の実験 した必修の演習	受業時数 **・実習・実 **の授業時数	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 105 単位時間 0 単位時間	THE CONTRACTOR OF THE CONTRACT
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した	(令和6年度 (繰サウンフ production ■民間の ※有の場合 https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バペシフィックアー 評価機関等から第三 例えば以下について付 評価団体: ww.tohogakuen.ac.jp は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 	トセンター、(株Ani 三者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数	Tone 他 受審年月: 実習・実技の打 対機業時数 した必修の実験 した必修の演習	受業時数 **・実習・実 **の授業時数	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 105 単位時間	(NA) COLL
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度) production ■民間の記 ※有の場合 ii https://ww (A:単位	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バペシフィックアー 評価機関等から第三、 例えば以下について付いて付いて付いて付いて付いて付いて付いて付いて付いて付いて付いて付いて付い	トセンター、(株Ani 三者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	Tone 他 受審年月: 実習・実技の打 対機業時数 した必修の実験 した必修の演習	受業時数 **・実習・実 **の授業時数	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 105 単位時間 0 単位時間	THE CONTRACT OF THE CONTRACT O
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状況	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バペシフィックアー 評価機関等から第三 例えば以下について付 評価団体: ww.tohogakuen.ac.jp は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 	トセンター、(株Ani 三者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	Tone 他 受審年月: 実習・実技の打 対機業時数 した必修の実験 した必修の演習	受業時数 **・実習・実 **の授業時数	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 105 単位時間 0 単位時間	(N) COL
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バペシフィックアー 評価機関等から第三、 例えば以下について付いて付いて付いて付いて付いて付いて付いて付いて付います。 一次のでは、 できます。 「うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 	トセンター、(株Ani 三者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	Tone 他 愛審年月: 実習・実技の打 授業時数 した必修の実験 した必修の実験	受業時数 歳・実習・実 電の授業時数) の授業時数)	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 30 単位時間	(N) COL
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バペシフィックアー 評価機関等から第三。 例えば以下について付 評価団体: ww.tohogakuen.ac.jp 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企数による算定) 総単位数 うち企業 	トセンター、(株Ani 定者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 ままます。	Tone 他 受審年月: 実習・実技の打 授業時数 した必修の実験 した必修の演習 マターンシップ 実習・実技の	受業時数 歳・実習・実 電の授業時数) の授業時数)	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 30 単位時間	THE CONTRACT OF THE CONTRACT O
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バペシフィックアー 評価機関等から第三。 例えば以下について付 (例えば以下について付 (例えば以下について付 (例えば以下について付 (別ないでのでがです。) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 	トセンター、(株Ani 三者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 素等と連携したイン 等と連携した実験 等と連携した大変習の 変響と連携した実験 等と連携した実験 等と連携した実験	Tone 他 受審年月: 実習・実技の打 授業時数 した必修の実験 した必修の演習 マターンシップ 実習・実技の	受業時数 歳・実習・実 電の授業時数) の授業時数)	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 105 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 - 単位 - 単位	THE CONTRACT OF THE CONTRACT O
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バペンフィックアー 評価機関等から第三。 例えば以下について付 学価団体: ww.tohogakuen.ac.jp 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 	トセンター、(株Ani 三者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 素等と連携したイン 等と連携した実験 等と連携した大変習の 変響と連携した実験 等と連携した実験 等と連携した実験	Tone 他 受審年月: 実習・実技の打 対象等の実験 した必修の実験 した必修の演習 マターンシップ 実習・実技の 対象	受業時数 ・実習・実 の授業時数) の授業時数)	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バペンフィックアー 評価機関等から第三。 例えば以下について付 学価団体: ww.tohogakuen.ac.jp 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 	トセンター、(株Ani 三者評価: 王意記載 /toho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 を連携した大変 できる。 等と連携した実験 等と連携した実験 等と連携した実験 等と連携した実験	Tone 他 愛審年月: 実習・実技の打 授業時数 した必修の実験 した必修の実験 した必修の実験 した必修の実験 した必修の実験 した必修の実験 した必修の実験	受業時数 歳・実習・実 の授業時数) 単位数 単位数	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バペシフィックアー 評価機関等から第三。 ・例えば以下についてが ・中価団体: ・www.tohogakuen.ac.jp ・時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 「大oho/sound/ 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン 等と連携した大実験 等と連携した大実験 等と連携した実験 等と連携した実験 等と連携した実験 等と連携した実験	Tone 他 受審年月: 実習・実技の打 授業時数 した必修の実験 した必修の演習 シターンシップ 実習・実技の した必修の実験 した必修の演習 した必修の実験 した必修の実験 した必修の実験	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 ・実習・実 の単位数	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バペシフィックアー 評価機関等から第三。 ・例えば以下についてが ・中価団体: ・www.tohogakuen.ac.jp ・時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ / 等と連携した実験 等と連携した演習の / 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表	Tone 他 受審年月: 実習・実技の打 授業時数 した必修の実験 した必修の演習 マターンシップ 実習・実技の した必修の実験 した必修の演習 した必修の実験 した必修の実験 した必修の実験	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 ・実習・実 の単位数	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 4 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 (ネクスト、㈱テレテ、(株)バシフィックアー (株)バシフィックアー (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株)	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ / 等と連携した実験 等と連携した演習の / 表 を 連携した 演習の / 表 を 連携した イン	Tone 他 愛審年月: 実習・実技の打 授業時数 した必修の実験 した必修の実験 した必修の実験 した必修の実験 した必修の実験 した必修の実験 にした必修の実験 にした必修の実験 にした必修の実験 にした必修の実験	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 単位数 の単位数 の単位数	接の授業時数	面結果を掲載した	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 4 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、、㈱バシフィックアー	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ / 等と連携した実験 等と連携した演習の / 方ち企業等と連携 / 方ち企業等と連携したイン	Tone 他 一	受業時数 一受業時数 一支援 · 実習 · 実習 · 実習 · 実習 · 実習 · 実習 · 支援 · 支	接の授業時数	面結果を掲載した 一ムページURL	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、(株)イシフィックアー (株)イシフィックアー (神価機関等から第三 (神風) (株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ / 特と連携した実験 等と連携した演習の	Tone 他 一	受業時数 一受業時数 一支援 · 実習 · 実習 · 実習 · 実習 · 実習 · 実習 · 支援 · 支	接の授業時数	面結果を掲載した 一ムページURL	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 4 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、(株)バシフィックアー (株)バシフィックアー (中) (水) (バンス・ックアー (ヤ) (水) (バンス・ックアー (ヤ) (水) (バンス・ックアー (ヤ) (水) (バンス・ックアー (ヤ) (バンス・ックアー (ヤ) (バンス・ックアー (ヤ) (バンス・ックアー (ヤ) (バンス・ックアー (バンス・) (バンス・ックアー (バンス・) (トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ / 等と連携した演習の / 技術した演習の / 支達携した演習の / 支達 / 支達 / 支き / 支き / 支き / 支き / 支き / 支き	Tone 他 一	受業時数 ・実習・実数の授業時数) 単位数 ・実単位数 の単位数) (専修学	無 技の授業時数 	新1号)	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 105 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 4 単位 -	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、Bいずれかに配入)	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、(株)バシフィックアー (株)バシフィックアー (神) (根) (株) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ / 等と連携した演覧 6 を連携した演習 6 授要等と連携した演習 6 方ち企業等と連携したイン 等と連携した大演 6 ち企業等と連携した大演 6 ち企業等と連携 7 ち企業等と連携 7 ち企業等と連携 1 大きで乗りた者では、 1 は 1 は 1 に 1 に 1 を 1 を 1 に 1 を 1 を 1 に 1 を 1 を	Tone 他 一	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 単位数 の単位数 の単位数) (専修学)	無 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	新1号) 第1号)	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 30 単位時間 4 単位 -	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等のBいずれか に記入)	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 (ネクスト、㈱テレテ、(株)バンフィックアー (株)バンフィックアー (中の人は以下についてが、) (中の人は以下についてが、) (中の人は以下についてが、) (中の人は以下についてが、) (中の人は、) (カラな企業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ 等と連携した演覧 6 長楽時数 「うち企業等と連携 したイン うち企業等と連携した演覧 6 は、 うち企業等と連携 した演覧 6 は、 等と連携した演覧 6 は、 等と連携した演覧 6 は、 等と連携した演覧 6 は、 等と連携 した演覧 6 は、 等と連携 した演覧 6 は、 等をと連携 まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	Tone 他 一	受業時数 ・実習・実 の授業時数 単位数 単位数 (専修学・ (専修学・ (専修学・	無 技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	新1号) 第2号) 第3号)	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、Bいずれかに配入)	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、(株)バンフィックアー (株)バンフィックアー (株) (イックアー (株) (イックアー (株) (イックアー (本) (水) (イックアー (本) (イックアー (イン) (イン) (イン) (イン) (イン) (イン) (イン) (イン)	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ 等と連携した演覧 6 長楽時数 「うち企業等と連携 したイン うち企業等と連携した演覧 6 は、 うち企業等と連携 した演覧 6 は、 等と連携した演覧 6 は、 等と連携した演覧 6 は、 等と連携した演覧 6 は、 等と連携 した演覧 6 は、 等と連携 した演覧 6 は、 等をと連携 まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	Tone 他 一	受業時数 ・実習・実 の授業時数 単位数 単位数 (専修学・ (専修学・ (専修学・	無 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	新1号) 第2号) 第3号)	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 30 単位日 単位 -	
学校評価 当該学科のホームの ホームページ URL 企業等等の実施がれた に記入) を実習等の属性(・専任) を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表し	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 (ネクスト、㈱テレテ、(株)バンフィックアー (株)バンフィックアー (中の人は以下についてが、) (中の人は以下についてが、) (中の人は以下についてが、) (中の人は以下についてが、) (中の人は、) (カラな企業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ 等と連携した演覧 6 長楽時数 「うち企業等と連携 したイン うち企業等と連携した演覧 6 は、 うち企業等と連携 した演覧 6 は、 等と連携した演覧 6 は、 等と連携した演覧 6 は、 等と連携した演覧 6 は、 等と連携 した演覧 6 は、 等と連携 した演覧 6 は、 等をと連携 まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	Tone 他 一	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数	無 技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	新1号)第2号)第3号)第4号)	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームの ホームページ URL 企業等等の実施がれた に記入) を実習等の属性(・専任) を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表し	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 ベネクスト、㈱テレテ、(株)バンフィックアー (株)バンフィックアー (株) (イックアー (株) (イックアー (株) (イックアー (本) (水) (イックアー (本) (イックアー (イン) (イン) (イン) (イン) (イン) (イン) (イン) (イン)	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ 等と連携した演覧 6 長楽時数 「うち企業等と連携 したイン うち企業等と連携した演覧 6 は、 うち企業等と連携 した演覧 6 は、 うち企業等と連携 した演覧 6 は、 等と連携した演覧 7 等と連携した演覧 7 等と連携した演覧 8 は、 等と連携 1 うち企業等と連携 1 うち企業等と連携 1 うち企業等と連携 1 うち企業等と連携 1 うち企業等と連携 1 方ち企業等と連携 1 方ち企業を修正した 4 方ち企業等と連携 1 方ち企業等と連携 1 方ち企業を修正した 4 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ちで 1 方ちで 2 方ちで 3 方ちで 4 方ちで 4 方ちで 4 方ちで 5 方ちで 5 うちで 5 方ちで 5 うちで 5 う うちで 5 うちで 5 う うちで 5 うちで 5 う ち う ち う ち う ち う ち う ち う ち う ち う ち う	Tone 他 一	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数	無 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	新1号)第2号)第3号)第4号)	1,965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 330 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 30 単位日 単位 -	
学校評価 当該学科のホームの ホームページ URL 企業等等の実施がれた に記入) を実習等の属性(・専任) を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表し	(令和6年度ン production ■民間の記 ※有の場合 : https://ww	 (ネクスト、㈱テレテ、、株/トンフィックアース・(株/トンフィックアー) (株/トンフィックアー) (株/トンフィックアース・(株/トン・マース・(株/トン・ス・(*))))) (*) (**) (** *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ 等と連携した演覧 6 長楽時数 「うち企業等と連携 したイン うち企業等と連携した演覧 6 は、 うち企業等と連携 した演覧 6 は、 うち企業等と連携 した演覧 6 は、 等と連携した演覧 7 等と連携した演覧 7 等と連携した演覧 8 は、 等と連携 1 うち企業等と連携 1 うち企業等と連携 1 うち企業等と連携 1 うち企業等と連携 1 うち企業等と連携 1 方ち企業等と連携 1 方ち企業を修正した 4 方ち企業等と連携 1 方ち企業等と連携 1 方ち企業を修正した 4 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ち企業 1 方ちで 1 方ちで 2 方ちで 3 方ちで 4 方ちで 4 方ちで 4 方ちで 5 方ちで 5 うちで 5 方ちで 5 うちで 5 う うちで 5 うちで 5 う うちで 5 うちで 5 う ち う ち う ち う ち う ち う ち う ち う ち う ち う	Tone 他 一	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数	無 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	新1号)第2号)第3号)第4号)	1.965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームの ホームページ URL 企業等等の実施がれた に記入) を実習等の属性(・専任) を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表し	(令和8年皮ンproductions) では、 ・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	 (ネクスト、㈱テレテ、、㈱バンフィックアー深(、㈱バンフィックアー深(、㈱バンフィックアー深() (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・)	トセンター、(株Ani E者評価: 王意記載 / toho/sound/ 等と連携した演習の 授契・事務を業等と連携した演習の ラち企業等と連携した大演習の ラち企業等と連携した大演習の ・ する企業等と連携 ラち企業等と連携 ラち企業等と連携 ラち企業等と連携 ラち企業等と連携 ラち企業等と連携 ラち企業等と連携 ラち企業等と連携 ラち企業等と連携 ラちを連携した大演習の 第一年を表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	Tone 他 安審年月: 実習・実技の 別授業時数 した必修のの実践 した必修のの実践 した必修のの対 実習・実技の した必修のの対 にとならない。 までは、 ないないでは、 はいないでは、 ないないでは、 ないないでは、 ないないでは、 ないないないないでは、 ないないないでは、 ないないないでは、 ないないないでは、 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	受業時数 ・実習・実習・実習の授業時数) 単位数 ・変更を対象・実習の受験を対象・実習の対象・変更を対象の対象・変更を対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	無 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	新1号) 第2号) 第3号) 第5号)	1.965 単位時間 180 単位時間 210 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 - 単位	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

高度な実践力や威力の発揮に欠かせない人間性や自立心を育み、環境や技術等の変化が著しい当該業界において順応力を持った人材を輩出するために、

- ①学生が享受すべき知識や技術について、連携企業との日常的なコミュニケーション・意見交換を通じて、教育課程の編成や教育環境の構築に関して、積極的に反映させる事。
- ②就職先ともなり得る連携企業に所属する社員を講師として招聘し、実習・演習授業において実利性・専門性が高いカリ キュラムを構成する事。

以上を、企業等との組織的な連携の基本方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長を委員長とし、以下、副校長、教務教育部長の他、就職指導や就職先企業の交渉等を主な業務とする学務管理部業務主任や学科運営を主たる業務とする学科主任を学内の委員とし、学科が委嘱する業界企業の方と業界関連団体に所属し、実践の環境を熟知し、あるいはそれらを俯瞰し統括する立場の方を学外の委員として構成している。

学外委員からは当該業界の動向や変化等について、学内委員からは学事や学生の動向等について意見交換を行い、積極的な情報共有を図る。

また、カリキュラムのあり方や授業の構成について、同業界において求める人材像や育むべき人間性や実践力について等、これらの具体的要件に関しても意見交換や議論を行い、教育課程決定の基とする場として位置付けている。

当委員会の内容は、学内委員により学科毎に実施されているカリキュラム会議で発議がなされ、学科担当職員との意見交換を経て、重要度の高い項目等から教育課程の編成に取り入れられる。反映された項目は、次回以降の同委員会でフィードバックがなされ、今後の会議運営に役立てる事とする。以上を教育課程の編成に関する意思決定の過程としている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
藤延 直道	協同組合 日本映像事業協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1
森 俊文	一般社団法人 日本ポストプロダクション協顧問	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1
大滝 功	有限会社フラッグス	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
小杉 文人	株式会社 ビデオスタッフ	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
村山 雄亮	株式会社WING-T	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
市川 一弘	株式会社共立取締役 管理本部長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
齋藤 明彦	株式会社アート・クリエイティブ・パートナーズ	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
堀内 和人	東放学園専門学校 校長 教育課程編成委員会委員長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
笹原 恭	東放学園専門学校 教務教育部長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
木戸 司	東放学園専門学校 学務管理部長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
大澤 竜哉	東放学園専門学校 教務教育部 放送音響科 学科主任	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月24日 14:00~16:00 第2回 令和7年3月28日 14:00~16:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ・昨年度に引き続き、実習授業のブラッシュアップ/増加を図るべきという提言に対し、MA実習を半期ごとのステップアップ科目に変更し、技術習得の向上を図った。
- ・音声以外の知識が求められる現場が増えており、視野やスキルを広げられるカリキュラム構築をしてほしいとの求めに対し、新たに映像編集分野の「Premiere Pro」習得科目を新規開講した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ①一つのジャンルのみに固執しない「音」とその技術に関する教育、制作力や発想力の向上に寄与する教育等を重点項目としている本学科において、これらの目的を達成するため、テレビ・ラジオ等のジャンルを担当業務としている企業、かつ、番組の企画や構成等の業務を担当している企業、学生の就業先となり得る連携すべき企業を選択する事。
- ②「現場が必要とする人材」を最も効果的に育む事ができる、現場の一線で活躍している企業や外部講師から助言をいただき、それを積極的に反映させていく事。
- ③実習・演習授業において、授業回毎の具体的な内容や、学生の習熟度を鑑みながらの教育の程度・水準等について、 学内の学科担当職員と議論や意見交換を図る等、同企業との連携を図りながら授業を担当していただく事。 以上3項目を、企業等との連携に関する基本方針としている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本学科1年次では、デザイン・デッサン・PCスキル・大道具等の美術全般において、それぞれの分野の技術力を身につけるための、実習・演習等の授業を実施している。ほぼすべての授業において、各職種に実際に携わっている企業と連携を行っており、習得した知識や技術の達成度を勘案しながら、実習作業の忠実度や意欲等を含めた学修成果の評価を実施していただいている。

2年次では、美術系業務の各職種において、学生の志望職種を見極めながら、さらに理解度や実践力を高めるための、応 用的実践授業を実施。1年次同様に各職種に従事している企業等と連携しながら、授業ごとに設定する目標到達度を勘案 しながら学修成果の評価を実施していただいている。

また、連携企業や外部講師を招聘し、学科担当職員全員・就職担当職員との懇談の場である講師会を実施。連携企業や 講師との意見交換と情報共有を図り、各担当授業のシラバスや具体的な実習・演習内容を検討したり確認したりしながら、 教育課程の充実と教育内容・学校職員の質向上に努めている。

上記会議体のみならず、連携企業や協力いただいている外部講師とは、定常的に当該現場の動向や変化、学生の資質等の情報を交換しながら、細やかな話し合い・コミュニケーションを通して、上記主旨同様の効果を図るための対策を常に施している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
ラジオ制作 I	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	ラジオが持つ魅力とは何か、聴取者を惹きつける力は何か、ラジオ番組制作の作業環境に関する全般を、基礎から学びます。	株式会社ミミ
ラジオ制作Ⅱ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	ラジオ制作 I で学んだ知識や技術を土台に、 ラジオ番組の企画立案作成から始まり、完成さ せるまでを、体系的に理解します。	有限会社ミントンハウス
ロケーション音声実習	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	毎日のように目にする「街頭取材」に欠かせない、屋外での撮影・収音作業に関して、機材の 基礎的な操作方法や収録方法を体得します。	株式会社ヌーベルバーグ
ラジオ制作皿	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	1年次の「ラジオ制作 I・Ⅱ」での知識や技術を 生かしながら、現役のラジオディレクターにアド バイスを受けながら実習します。	株式会社サウンズネクスト
ケーブル工作		中継先などで突然ケーブルの断線が発生したら、自分の手で修理や補修できるようにコネクターの構造やケーブルの仕組み、半田ごてを使って完成させる方法を学びます。	株式会社シーティーエス

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本校では、教員研修規程として教員研修の目的、方針、教員の責務、報告などの事項を定めており、教員の業務経歴や能力、担当する授業科目等に応じ、専攻分野の実務に関する知識、技術、技能並びに、学生に対する指導力等、教員の能力及び資質等の修得・向上を図るため、適宜、企業等と連携した研修を行うことを基本方針としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 音声技術会社研修視察 連携企業等: 株式会社ヌーベルバーグ

期間: 令和6年8月26日 対象: 放送音響科 教員

役立てる。また、業界の最新動向や人材ニーズを把握し有効な人材輩出に努める

研修名: 韓国Kコンテンツ制作動向セミナー 連携企業等: JPPA調査・事業委員会

期間: 令和7年2月25日 対象: 放送音響科 教員

内容 急成長を続ける韓国コンテンツを映像制作技術、IT、海外との差別化といった観点からヒット作を生み出す

秘訣を探る

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: ビジネス文章力向上研修 連携企業等:株式会社インソース

期間: 令和6年5月3日 対象: 東放学園 教員

| 他者理解のための「傾聴力」や、相手の心情・要望を引き出すための「質問力」を、ケーススタディを交えな

がら習得し、ビジネスシーンでの文書に必要なスキルを学ぶ

研修名: 指導力強化研修~新人・若手のホウ・レン・ソウを上達させる 連携企業等:株式会社インソース

期間: 令和6年10月9日 対象: 東放学園 教員

内容

指導を受ける部下・後輩の立場から考えることで、効果的な指導法や、ホウ・レン・ソウしやすい上司・先輩

となるような環境づくりを学ぶ

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 音声技術会社研修視察 連携企業等: 株式会社PCCS

期間: 令和7年4月2日 対象: 放送音響科 教員

内容
ラジオ番組制作の収録現場視察及び、配信スタジオの設備や業務そのものを理解し、教育課程や授業内内容

容の最適化に役立てる。また、業界の最新動向や人材ニーズを把握し有効な人材輩出に努める

研修名: InterBEE 2025 連携企業等: - ₩社団法人 電子情報技術産業協会

期間: 令和7年11月19日 対象: 放送音響科 教員

内容
映像業界を取り巻く現状を理解し、将来を見据えた教育手法や人材輩出に役立てる。また最新技術や教

育機関に有効な環境設備を研究する

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 分かりやすい説明の仕方研修~言いたいことを簡潔に伝える 連携企業等:株式会社インソース

期間: 令和7年6月18日 対象: 東放学園 教員

「分かりやすい話」の違いを理解し、説明力を高める

研修名: 行動経済学・ナッジ理論活用研修~資料作成編 連携企業等:株式会社インソース

期間: 令和7年8月19日 対象: 東放学園 教員

内容・・ナッジ理論を活用することで、読み手の心理を理解し、わかりやすい資料を作成できるスキ

^{内谷} ルを身につける

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針
- (法人の基本方針)
- ①教育の一層の充実を図り、学校の目的および社会的使命を達成するため、各校における教育活動等の状況について 定期的に関係者評価を行い、随時改善を図ることを目的とする。
- ②学園は充実した学校評価制度の構築に努め、各校・各部門はこれを実施する体制を整える。
- ③各校・各部門は、情報公開を念頭に揚げ、より高い基準を設定し関係者評価を実施する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

	7-XIC-17/1/10
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	使命、行動指針、教育方針、理念、目的、育成人材像
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システム、情報システム
(3)教育活動	目標の設定、教育方法・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許取得の指導体制、教員・教員組織
(4)学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、卒業生・社会人
(6)教育環境	施設·設備、学外実習·インターンシップ等、防火·安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金
(8)財務	財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令・設置基準の遵守、個人情報保護、学校評価、情報公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献の取組み、ボランティア活動の取組み
(11)国際交流	00000

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

評価結果を活用し教育活動および学校運営の質の保証と向上に継続的に努めるための改善措置を随時行っている。委員の意見やアドバイスを尊重し「即対応できること」「時間をかけて取り組むこと」などを検討・判断し可能な限り出来得ることから改善を行っている。(カリキュラムの改革、機材の購入、教員のスキルアップなど)

【具体的な取り組み】クラウド型学園ポータルサイトの活用などICT化を促進。PDCAを繰り返しながら業務の効率化、学園サービスの充実を図り、新たな教育方法・学校運営を施行。社会のニーズや時代に合わせた新たなカリキュラムの検討等。日進月歩で変容していく関連業界の技術や働き方に合わせた授業内容や授業名を委員の意見の元、検討を重ね、実施に向けて準備をしている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
岸田 真	1 #12 	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	教育・学校運営 に関する有識者
田口 裕基		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	高校教諭
小川 尚人			就職先及び関 連業界関係者
葭田 浩和	 	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	就職先及び関 連業界関係者
永瀬 ななえ		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・) 広報誌等の刊行物・ その他())

URL: https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/公表時期: 令和7年5月

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

認可された教育機関として、社会への説明責任を果たすとともに、教育の質保証・向上の観点から、学生、保護者、地域住 民、関連業界企業等に教育活動や学校運営の状況に関する情報を提供する。また、同窓会組織や東放学園キャリアサ ポートセンターと連携を図り、卒業生や企業等から積極的に意見を聴取して、業界のニーズを反映した教育環境の整備や 教育課程の編成に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	基本理念、使命、行動指針、教育方針、学園概要、沿革、お問い合わせ
(2)各学科等の教育	募集学科・募集定員、放送音響科、放送音響科カリキュラム一覧、資格取得
(3)教職員	学園概要(校長名、教員数)、※学校公式ブログ
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	部&クラブ活動紹介、機材・設備
(6)学生の生活支援	留学生活支援、学生寮
(7)学生納付金・修学支援	学費、奨学制度・教育ローン、奨学制度(留学生)
(8)学校の財務	情報公開(財務情報)
(9)学校評価	情報公開(自己評価報告書、学校関係者評価報告書)
(10)国際連携の状況	留学生の方へ
(11)その他	00000

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL:https://www.tohogakuen.ac.jp/

URL: 公表時期: 令和7年5月

授業科目等の概要

	授業科目等の概要 (放送専門課程 放送音響科)															
		分類	1	JIMIE MAZEL	H 1717	配	授		授	業	方法	場	所	教	員	企
	必	選	自			当年	業	単	講	演	実験	校	校	専	兼	業等
	æ	択	由	授業科目名	授業科目概要	次		位	舑	典	· 技実	ťΧ	ťΧ	4	**	٤
	修	必修	選択			学	時	数	義	習	習	内	外	任	任	の連
						期	数				実					携
1		0		映像作品研 究 I	映画・映像作品における、音の意味や映像との結びつきを理解しながら、様々なシチュエーション での「音」を学び、音に対する感性を磨きます。	1後	60		0			0		0		
2	0			音響概論	音響技術者として活躍するために必要な「そもそ も音とは何か」という基本的な知識に関して、人 の耳の聞こえ方等、基礎から学びます。	1 前後	60		0			0		0		
3		0		音声メディ ア研究	「音」を産業や文化という観点から紐解きながら、日本やアメリカ等の放送・音楽の発展の経緯 や最新の取り組みを学びます。	1 後	30		0			0			0	
4		0		業界特別講 座 I	関連業界の一戦で活躍しているスタッフを招聘 し、業界人としてプロフェッショナルとして必要 な心構えを学びます。	1 前 後	30		0			0		0	0	
5	0			就職講座I	就職活動の進め方、履歴書作成と面接突破に欠か せない「自己理解」を、自分の言葉で語れる力を 身につけます。	1 前	30		0			0		0		
6	0			就職講座Ⅱ	「就職講座 I 」を基に、履歴書の具体的な記入方法を習得。面接シミュレーションによって実践的な力を身につけます。	1後	30		0			0		0		
7		0		テレビ音声論	講師自らの豊富な経験に基づきながら、テレビと 音の関わり方、機材や作業環境の変化を学び、音 声スタッフとしての役割を習得します。	1後	30		0			0			0	
8	0			ビジネスマ ナ ー ・コ ミュニケー ション	社会人に必要なビジネスマナーやコミュニケー ションの重要性を理解し、好態度の高いスキルを 体得します。	1後	30		0			0			0	
9		0		PC リ テ ラ シー	必要不可欠であるPCの仕組みや通信規格、関連機 器等からトラブルシュートに至るまで、幅広い知 識を習得します。	1 前	30		0			0		0		
10		0		ミュージッ クソフト研 究	ラジオ番組における演出に欠かせない音楽について、その歴史・時代背景や様々なジャンルの楽曲 を紐解きながら、音楽的視野を広げます。	1 後	30		0			0			0	
11		0		アニメ音響 実習 I	アニメーション作品における音響効果作業に関して、作品に使用される楽曲の選択からそれぞれの 効果音作りを、繰り返し学びます。	1 後	30				0	0		0		
12		0		音 声 収 録 演 習	アニメーションにおける音、その製作過程と録音 作業を、学生自らが演出・演技をしながら理解。 Pro Toolsを使用しながらスキルを磨きます。	1 後	30			0		0		0		
13		0		ケーブルエ 作	機器間を結ぶ音声信号用ケーブルの仕組みを理解 し、自分の手で製作したり修理したりするための 技を体得します。	1 後	15				0	0			0	0
14		0		効果音制作 演習 I	アニメやドラマ・映画では欠かせない「効果音」 の手法や音響効果、作成方法を学びます。	1 後	30			0		0		0		
15		0		構成台本演習	テレビやラジオ番組に欠かせない台本、そして前 段階の企画書を含め、アイデアの発想方法から基 本的な作成方法を学びます。	1 前	30			0		0			0	
16		0		コ ミ ュ ニ ケーション 実習	という事の基礎から順に学びます。	1 前	30				0	0			0	
17		0		シナリオ演 習	ドラマを司る「シナリオ」に関わる知識や表現方法を理解し、感性の具現化を達成するための方策 を体得します。	1後	30			0		0			0	
18		0		スキルアッ プゼミ I	学内イベントのスタッフを通して、番組制作における音響関連のスキルアップを図り、他セクションの仕事内容の理解を深めます。	1 前後	30				0	0		0		
19		0		テレビ音声実習	テレビスタジオにおける音声スタッフの役割や、パラエティーや音楽等の各ジャンルでの具体的な作業に関して体得します。	1後	60				0	0		0		
20		0		ビデオ制作	音声スタッフとして理解が必要な映像構成方法や 技法に関して、それぞれの役割分担や仕事を学び ながら作品を完成させます。	1 前	30				0	0		0		
21	0			ProTools 実 習	音や音楽の編集には欠かせない業界標準のアブリケーション「Pro Tools」を使用し、映像に音声をつける一連の作業方法を体得します。	1 前	45				0	0		0		
22	0			ラジオ制作 I	ラジオが持つ魅力とは何か、聴取者を惹きつける 力は何か、ラジオ番組制作の作業環境に関する全 般を、基礎から学びます。	1 前	60				0	0		0	0	0
23		0		ラジオ制作Ⅱ	ラジオ制作Iで学んだ知識や技術を土台に、ラジオ番組の企画立業作成から始まり、完成させるまでを、体系的に理解します。	1後	60				0	0		0	0	0
24		0		ラジオ制作 技術	ラジオスタジオの放送車を操作し、音をバランス よくミックスして組み立てるスキルを習得しま す。	1後	30				0	0			0	
25		0		リサーチ	ジャンルや多少に関わらず何らかの情報を提供するテレビやラジオ番組。その情報の的確な選択・収集能力を体得します。	1後	30				0	0			0	
26	0			ロケーショ ン音声実習	毎日のように目にする「街頭取村」に欠かせない、屋外での撮影・収音作業に関して、機材の基礎的な操作方法や収録方法を体得します。	1 前	45				0	0			0	0
27		0		映像作品研 究Ⅱ	映画・映像作品における、音の意味や映像との結びつきを理解しながら、様々なシチュエーションでの「音」を学び、音に対する感性を磨きます。	2 後	60		0			0		0		

H											1965	単	位 (単位	2時間	1)
46		0		ミキシング テクニック	ミキシングコンソールの役割を理解し、エフェク ターの使用方法や効果を学びながら、楽曲のミキ シング技術を習得します。	2 後	45				0	0		0		
45		0		ボイスドラ マ制作	学生オリジナルのシナリオの内容を読み解き、作 風に適した効果音の選曲や作成を行い、ヴォイス ドラマの音響演出技法を体得します。	2 後	120				0	0		0		
44		0		Premiere Pro	業界標準の動画編集アプリケーション 「PremierePro」の操作方法を学び、動画編集のノ ウハウを習得します。	2 後	30				0	0		0		
43		0		PA基礎	基礎的なPAシステムの概念や使用機材の接続方法 を学び、関連機器全体のセッティング方法等を学 びます。	2 後	15				0	0		0		
42		0		制 作 ゼ ミ ラ ジオ	2年間の集大成として、完成度の高いラジオ番組 制作を行います。	2 後	60			0		0		0		
41		0		制作ゼミアニメ	2年間の集大成として、完成度の高いアニメ音響 製作を行います。	2後	60			0		0		0		
40		0		スキルアッ プゼミⅡ	学内イベントのスタッフを通して、番組制作における音響関連のスキルアップを図り、他セクションの仕事内容の理解を深めます。	2 前後	30				0	0		0		
39		0		効果音制作 演習Ⅱ	アニメやドラマ・映画を音響的に演出する「効果 音」の収録〜編集方法を学び、音声構成全般に渡 る技術や知識を習得します。	2 後	30				0	0		0		
38		0		MA実習 II	基礎や概論から学び進めてきたMA作業について、 実際に録音したり音声を製作しながら、即戦力を 体得します。	2 後	30				0	0		0		
37		0		MA実習 I	映像作品に、効果音や音楽を付け加えさらに整音 作業を行うことでMA作業の基礎技術を修得し、ポ ストプロダクションとは何かを理解します。	2 前	30				0	0		0		
36		0		伊福部ゼミ	ラジオ番組のディレクターや構成作家の仕事や関 わる知識を、プロのバーソナリティに協力いただ きながら、繰り返される実習を通して体得しま す。	2 前 後	60			0		0			0	
35		0		アニメ音響 実習II	入学してから得た様々な知識や経験を生かしなが ら、アニメーションのセリフや効果音等を実際に つけていく技を深めます。		60			0		0		0		
34		0		ラジオ制作 II	1年次の「ラジオ制作 I・II」での知識や技術を 生かしながら、現役のラジオディレクターにアド バイスを受けながら実習します。	2 前	210			0		0			0	0
33		0		番組制作演習	各学科連携して、情報教養・パラエティ・音楽 ジャンルの番組製作シミュレーションを通して、 番組制作全般への理解・チームワークと関連技術 の向上を目指します。	<u>.</u>	240			0		0		0		
32		0		フ ォ ロ ー アップゼミ	採用活動を行っている企業を招聘し話を伺い、求 める人材像を通して魅力ある自己表現の方法を学 びます。		30		0			0		0		
31		0		ビジネス著 作権	音楽を取得するにも放送するにも欠かせない著作 権と権利について、具体的な事例を基に、必要な 知識を修得します。	2 前	30		0			0			0	
30	0			就職講座Ⅲ	間近に控えた就職活動に向けて、優れたエント リーシート・優れた面接対応等、「内定を勝ち取 る」術を体得します。	2 前	30		0			0		0		
29		0		業界特別講 座Ⅱ	関連業界の一戦で活躍しているスタッフを招聘 し、業界人として必要な心構えを学び、即戦力を 習得します。	2 前 後	30		0			0		0	0	
28		0		音楽概論	音符・リズム・拍子・間合い等、音の仕事に欠か せない楽曲構造を理解し、音楽を身近なものとし て楽しみながら学びます。	2 後	30		0			0			0	

	卒業要件及び履修方法	授業期間等					
卒業要件:	①期日までの学費納入 ②必修科目を含む、年間800時間以上、卒業時1700時間以上の修了認定	1 学年の学期区分	2 期				
履修方法:	初回の授業(ガイダンス)で内容を確認し、期日までに履修科目の登録を行う	1 学期の授業期間	15 週				

[|] 図修方法: 初回の授業 (ガイダンス) で内容を確認し、期日までに履修料目の登録を行う | 1 子朋の授業 所図 に (留意事項) | 1 一の授業料目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。 | 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。